



# 学校だより

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/haragaij>



「Ig Nobel Prizes 2022」から「学びの原点」について考える

校長 駒崎 彰一

「人々を笑顔に、そして考えさせてくれる業績」に対して贈られる「イグノーベル賞」。

ノーベル賞のパロディとして1991年に雑誌編集者で会社経営者(当時)のマーク・エイブラハムズ氏によって創設されました。「下品な」とか「不名誉な」を意味する「ignoble」と「ノーベル(Nobel)賞」をかけ合わせた駄洒落で「イグノーベル(Ig Nobel)」と名付けたとされています。「大人の自由研究」の世界版といった感じです。毎年10組の研究がハーバード大学(アメリカ)で9月に表彰されていますが、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて表彰しています。一風変わった研究を讃え、想像力に富んだ研究を表彰し、人々の科学、医学、技術等の学問への関心を高めることを目的としており、とても素敵な「深い学び」のある取組であると感じており、毎回、受賞論文に目を通しています。

日本人はイグノーベル賞受賞の常連国で、今回も千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 松崎 元 教授が「工学賞」(Engineering PRIZE)を受賞しました。

内容は、「円柱形つまみの回転操作における指の使用状況について」という研究です。是非論文を熟読してみたいと思います。 [https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssdj/45/5/45\\_KJ00001647367/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssdj/45/5/45_KJ00001647367/_pdf/-char/ja)

研究の概要は、身の回りにある、つまみやグリップ、ノブやダイヤルなど様々な機器を利用するとき、何本の指でどの位置に触れて回すといった、いつも無意識に操作をしている「無意識の行為」をグラフや数式で表せないかという研究です。実験方法は、45本の直径が異なる円柱を32名の被験者に回してもらい、操作開始時の指の使用本数と接触位置を統計的に明らかにしていくという方法です。この結果は、つまみの大きさや形状をデザインする際に役に立つという「プロダクトデザイン」と言われる工学の真面目な研究です。

論文を読み解くと、つまみを持つ指の本数はつまみの直径が10~11mmで2本から3本に、23~26mmで3本から4本に、45~50mmで4本から5本に切り替わる。また、持つときの親指の位置をそろえると、他の4本の指の位置は二次曲線を描くこともわかったそうです。

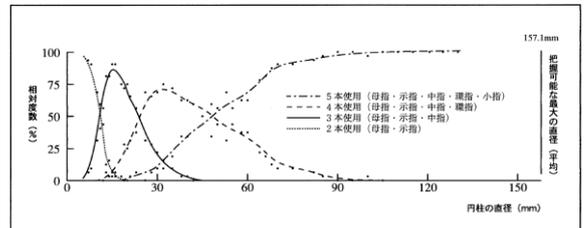


図6 回転操作開始時に使用される指の本数の推移

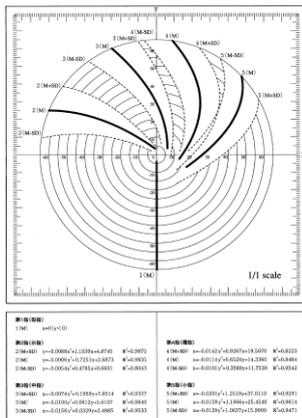


図7 回転操作開始時に7本の指と各指の接触位置の推移(親指を1本とした場合)

実社会の状況に合わせて、ゼリー飲料によくある直径10mm未満のつまみは2本(親指と人差し指)使い、直径11mmを超える調味料などのつまみは、3本使われた方が多かったそうです。直径26mmを超えるペットボトルのつまみなどは指4本。ウェットティッシュのボトルなどの直径90mm以上は、5本ということになります。

「確かに! 無意識のうちに・・・」

松崎教授は今回のイグノーベル賞の受賞について「研究者としては『人々を笑わせ考えさせた研究』ということで複雑な気持ちでしたが、着眼点を評価された『デザイナー』としては大変嬉しく思います。これを機に無意識の行為を研究する若い研究者やデザイナーにもっと注目が集まることを期待しています」とコメントしています。

社会で誰もが当然と思っていることを正確に学問として捉える能力「社会と学びをつなぐこと・・・」これからの社会に必要な能力であると思います。各教科の「学び」も「社会とつながること」を意識しながら学ぶことができると「深い学び」につながっていくと思います。

「学ぶ」って楽しい!

## 原宿外苑大根 2022

### 「サステナブル(Sustainable)な栽培」に挑戦

NICO (一般社団法人 天然繊維循環国際協会 <https://nico3.or.jp/>) および株式会社 FOOD REBORN (フードリボン <https://food-reborn.co.jp/>) の皆様とのコラボレーションにより栽培方法がサステナブルに進化しました。具体的には、昨年度までビニール製の土嚢袋を使い栽培していましたが、本年度からは天然繊維(麻袋)を利用して、最終的に麻袋を含め「土」に戻す栽培方法での取組を展開します。昨年度の大根栽培で利用した「土」は、給食室の横にて簡易コンポストとして「土」を育ててきました。「土から生まれたものは土に還る」完全循環型の栽培を目指していきます。この麻袋については、上島珈琲株式会社 UCC からコーヒー豆を輸入するときに利用した使用済みの麻袋を提供していただき株式会社 FOOD REBORN さんが原宿外苑大根用にカスタマイズしたものです。



×

FOOD REBORN  
捨てるものがない明日へ

×

UCC  
ひと粒と、世界に、愛を

×



しほくろの はるひのかがみん きんがたご  
渋谷区立 原宿外苑 中学校  
HarajukuGaien Junior High School in Shibuya city



## 和服(浴衣)の着付け授業

### グローバル人材の育成に向けて、まずは日本文化の習得

千駄ヶ谷に本社のある「きもの やまと」株式会社 やまと (<https://www.kimono-yamato.co.jp/>) さんとのコラボレーションで全学年全学級に家庭科の授業で和服(浴衣)着付け体験授業を実施しました。

「着付け」を学ぶため、全員で「女性用の浴衣の着付け体験」と着物の「たたみ方」を学ぶとともに、浴衣を着て「映える浴衣姿」の撮影会を美術の授業として展開しました。なんと浴衣・履物は全て「やまと」さんからの貸出になります。男性用の浴衣を着てみたい人への貸出もあり、充実した授業となりました。





誰でも気軽に  
「きもの」や「日本文化」を  
体験・体感できる場所。  
こども・サステナブル・地域社会を  
テーマに、様々なかたちで  
前向きな未来をつくります。



## 第75回渋谷区立中学校陸上競技大会

コロナ禍による2年間の中止を経て、「渋谷区立中学校陸上競技大会」が9月28日(水)に開催されました。これまで駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場で実施していた大会が、本年度より9年ぶりに国立競技場での開催となり、本校はまさに開催地域でありHost Town(Host School)です。渋谷区では、全校応援が伝統であり、大会当日は「通常通りの時刻に」登校して、全員で国立競技場に移動して思い出を共有しました。



# 表彰

## 渋谷区立中学校陸上競技大会（第4位までを掲載）

- 第1位 3年男子走高跳 河野 真弥 2年男子走高跳 高江洲ワグ 幸希イ 共通女子100mH 柳澤 夏南  
 1年男子4×100m 佐々木 悠翔 村上 永遠 秋元 瞭 神山 成
- 第2位 3年男子1500m 会田 奏 2年男子1500m 呉 龍治  
 共通女子200m 林 楓子 1・2年女子砲丸投 角谷 莉央奈  
 1年女子4×100m 保坂 紗良 石井 葉美 宇野 一千琉 佐々木 李咲
- 第3位 1年男子100m 秋元 瞭 2年男子走幅跳 齋藤 勇 1・2年男子砲丸投 横内瑠叶  
 1年女子走高跳 宇野 一千琉 2年女子走幅跳 増本 香穂  
 2年男子4×100m 芹澤 寿安 溝口 玲央 高江洲ワグ 幸希イ 齋藤 勇  
 3年男子4×100m 佐瀬 信哉 河野 真弥 会田 奏 石津 一樹  
 2年女子4×100m 増本 香穂 今野里沙子 上面 結愛 山本 二瑚
- 第4位 3年男子100m 佐瀬 信哉 共通男子200m 溝口玲央 1年男子1500m 佐々木 悠翔  
 2年男子1500m 井口 綜合 1年男子走幅跳 夏目 龍明 1・2年女子800m 近藤 碧泉  
 3年女子4×100m 田村 璃子 柳澤 夏南 林 楓子 福井 芽来

## ソフトテニス部

- 渋谷区ソフトテニス新人大会 女子団体 優勝  
 男子個人 第三位 越・山崎ペア

	日	月	火	水	木	金	土
今月の 予定							1
							都民の日
	2	3	4	5	6	7	8
		専門委員会	安全指導日	前期終業式 職員会議・研 修会	秋季休業日始 中学校連合音 楽会		秋季休業日終
	9	10	11	12	13	14	15
		スポーツの日	後期始業式	渋中研部会	中央委員会		土曜授業④ 学校公開日
	16	17	18	19	20	21	22
				職員会議・研 修会		なみき祭(舞 台)準備	なみき祭(舞 台)
	23	24	25	26	27	28	29
		振替休日	避難訓練		教育相談始(3)		
30	31						
	生徒朝礼						
来月の 予定	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
				渋中研一斉	文化の日 東京都教育の 日	教育相談終(3)	
	6	7	8	9	10	11	12
		全校朝礼	安全指導日	後期中間始(3)	後期中間始 (12)	後期中間終	土曜授業④ 学校公開日 防災訓練 CS
	13	14	15	16	17	18	19
		専門委員会		職員会議・研 修会	中央委員会		
	20	21	22	23	24	25	26
		生徒朝礼	避難訓練	勤労感謝の日			
	27	28	29	30			
	職場体験始(1)	TGG(2)	職場体験終(1)				